

# 足利市の求める人材

本市の人材育成にあたっては、まず、本市が求める人材の姿を明らかにする必要がある。その人材像を目標とした研修、人事管理における制度がそれぞれの機能を果たすなかで、目指すべき人材の育成が行われるものである。

## 1 足利市の求める人材のイメージ

足利市が求める人材は、自らが、市政を担う者としての自覚と職務への強い意欲、積極性などを基盤とし、行政環境の変化に伴うさまざまな行政課題に的確に対応できる能力を備えた人材でなければならない。

### 職員の「求める人材」イメージ

職員自身が持つ「求める人材」のイメージは、人材育成を自らのものとしてとらえるために重要な要素である。そのため、職員へのヒアリング調査を行い、その人材像を把握した。

市民に親切な職員  
市民から好かれる職員  
市民の立場に立って仕事ができる職員  
市民とともに考え、行動できる職員  
市民のリーダーシップが取れる職員

### 市民志向

市民に公平で信頼される職員  
上司、部下、市民に信頼される職員

### 信 頼

常に勉強し、自分を高めることができる職員  
新しい知識を吸収する意欲を持つ職員  
自己啓発への強い意欲を持つ職員

### 自己啓発

意欲を持って仕事をする職員  
積極的な仕事への姿勢を持つ職員  
ヤル気のある職員

**意欲・積極性**

情報に敏感で情報収集ができる職員  
情報を的確に仕事に生かせる職員  
情報機器操作能力のある職員

**情報能力**

組織の一員として協調性のある職員  
素直で人の意見を吸収できる職員

**協調性**

市の目標を把握し政策目標を立てられる職員  
仕事の問題点を把握し、解決へ向けて仕事の  
枠組みを立てられる職員  
先見性と創意に満ちた企画能力がある職員

**政策形成能力**

企業感覚で仕事にあたれる職員  
コスト意識が高い職員

**経営感覚**

国際化に対応できる能力を持った職員  
国際感覚が豊かな職員

**国際化能力**



## 市民からの声～市職員に求めるもの

平成11年7月に実施した「市民アンケート調査」の結果によると、市民から市職員に対する意見、要望が出されている。これらの意見、要望は、市民からの市職員への「求める人材」イメージとしてとらえることができる。

職員は公務員としての自覚を  
職員の対応が悪い  
職員の仕事振りが怠慢ではないか  
職員のレベルアップを  
職員は誠心誠意仕事に取り組んで

市民志向

意欲・積極性

自己啓発

## 行政課題解決への「求める人材」イメージ

職員の持つ「求める人材」イメージとともに重要な要素は、行政環境の変化に対応した課題解決のために必要な能力を備えた人材イメージである。

行政目標を理解し、政策の実現に向けての枠組みを形成し業務を遂行できる職員

政策形成能力

地域社会の情報化の進展に対応するために必要となる政策を形成、実施する上で必要とされる能力のある職員  
情報機器、各種媒体を的確に活用することができる職員

情報能力

地域社会の国際化の進展に対応するために必要となる政策を形成、実施する上で必要とされる能力のある職員

国際化能力

業務を的確に遂行するために必要な知識、技術を備えるとともに、対人能力や業務管理能力などのある職員

**基礎的業務  
遂行能力**

<職員の「求める人材」イメージ>、<市民が職員に「求める人材」イメージ>  
<行政課題解決への「求める人材」イメージ>に共通するキーワード

**市民志向** **自己啓発** **意欲・積極性** **信頼** **協調性**

**基礎的業務遂行能力** **政策形成能力** **経営感覚** **国際化能力**



## 足利市の求める人材

「足利市の求める人材」のイメージとは、職員自身が考える人材イメージ、市民が職員に求めている人材イメージ及び行政課題解決の能力を有する人材イメージのそれぞれから導き出される人材イメージである。

